



巨匠ゼツダを迎え、手堅い演出も好評を得た初期のオペラ・セリア

▲ロッシーニ「タンクレーディ」 2010年6月11日・13日 東京文化会館

当団のルーツに因むメモリアル公演、そして11年ぶりの「ルチア」

藤原歌劇団公演監督 岡山廣幸

猛暑に悩まされた今年の夏でしたが、みなさま如何お過ごしでしょうか。藤原歌劇団は去る6月にアルベルト・ゼツダ氏を迎え、ロッシーニの『タンクレーディ』を上演し好評裏に幕を閉じました。ゼツダ氏との共演は2005年の『ラ・チェネントラ』以来4作目になりますが、一作ごとに評価が高まっています。今回は当団にとって初めてのロッシーニのオペラ・セリアでしたが、日本のオペラ界にとっても大きな収穫であったと自負しています。

さて今年の日比谷公会堂開設80周年に当たります。藤原歌劇団が昭和9年に旗揚げ公演で『ラ・ボエーム』を上演したホールです。その日比谷公会堂で10月9日に『藤原義江メモリアルコンサート』を開きます。藤原歌劇団が日比谷公会堂で上演した演目の中から、名場面を抜粋しお楽しみ頂きます。当日はスペシャルゲストとして舞台美術家の妹尾河童氏を迎え藤原義江の思い出を聞かせてもら

うコーナーも用意しています。11月には全役オーディションでキャストティングした文化庁芸術団体人材育成支援事業の一環としてヴォルフ=フェッラーリのオペラ『イル・カンピエッロ』を新百合ヶ丘のテアトロ・ジューリオ・ショウワで上演いたします。次代のオペラ界で活躍を期待される若手歌手たちが、どんな舞台を務めるか楽しみです。

年を越して来年3月の都民芸術フェスティバルでは、ドニゼッティの名作『ルチア』を11年ぶりに上演いたします。諸説ありますがドニゼッティは生涯で約70のオペラを書いています。38歳の時に書かれたこの作品は、作曲家として油の乗り切った時期に作られたもので、ベルカント・オペラの代表作とも言えます。今回のタイトル・ロールはこの役に絶対の自信を誇る佐藤美枝子と、一昨年行われた静岡国際オペラ・コンクールで日本人として初めて第1位を受賞した新進気鋭の光岡暁恵が競演いたします。ご期待ください。

【2010年10月】

日比谷公会堂 開設80周年記念事業

藤原義江メモリアルコンサート

【2010年11月】

日本オペラ振興会 人材育成オペラ公演

ヴォルフ=フェッラーリ「イル・カンピエッロ」

【2011年3月】

藤原歌劇団公演

ドニゼッティ「ルチア」

日比谷公会堂 開設80周年記念事業

藤原義江メモリアルコンサート

ソプラノ◎

小林厚子、佐藤亜紀子、清水理恵、廣田美穂、野田ヒロ子

メゾ・ソプラノ◎

鳥木弥生、松浦 麗

テノール◎

小山陽二郎、五郎部俊朗、中鉢 聡、ロベルト・ディ・カンディド

バリトン/バス◎

小田桐貴樹、柿沼伸美、須藤慎吾、羽瀧浩樹、森口賢二、吉森祐也、若林 勉

ピアノ◎

浅野菜生子、藤原藍子

スペシャル
ゲスト



妹尾河童「藤原義江を語る」

2010年 **10/9** (土) 17:00 日比谷公会堂

A ¥4,800 B ¥2,800 [税込]

主催：財団法人日本オペラ振興会

共催：日比谷公会堂開設80周年記念事業実行委員会



演奏予定曲目

【第一部】

「リゴレット」より「女ごころの唄」

中鉢 聡

「カルメン」より「ハバナラ」

鳥木弥生

「聞かせてくれ、おふくろの話」

佐藤亜希子&ロベルト・ディ・カンディド

「ボッカッチョ」より「恋はやさしい野辺の花よ」

五郎部俊朗

「討匪行」(藤原義江作曲)

森口賢二

「バリアッチ」より「シルヴィオ、こんな昼間に」

廣田美穂&須藤慎吾

「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」

小林厚子

妹尾河童氏トーク

「セビリヤの理髪師」より第2幕フィナーレ

ロジャーナ:松浦 麗 ベルタ:清水理恵 伯爵:五郎部俊朗

フィガロ:柿沼伸美 バルトロ:吉森祐也 パジーリオ:小田桐貴樹

【第二部】

「ラ・ボエーム」ハイライト

ミミ:野田ヒロ子 ムゼッタ:清水理恵

ロドルフォ:小山陽二郎 マルチェッロ:羽瀧浩樹

ショナール:森口賢二 コッリーネ:若林 勉

日本オペラ振興会 人材育成オペラ公演

平成22年度文化庁芸術団体人材育成支援事業

エルマンノ・ヴォルフ=フェッターリ作曲

イル・カンピエツロ

オペラ3幕(字幕付き原語上演)

公演監督：岡山廣幸 指揮：柴田真郁 演出：松本重孝

キャスト

	2/6	2/7		2/6	2/7
ガスバリーナ	納富景子	枝松 瞳	オルソラ	但馬由香	高橋央江
ドナ・カーテ	松浦 健	石川誠二	ゾルゼート	藤原海考	松岡幸太
ドナ・バスクア	鹿内芳仁	三浦大喜	アンゾレート	和下田大典	池田 哲
ルシエータ	小林教代	園田直美	アストルフィ	森口賢二	折河宏治
ニエーゼ	大音絵莉	飯嶋幸子	ファブリーツィオ	清水良一	小田桐貴樹

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：イル・カンピエツロ アンサンブル

美術／大沢佐智子

衣装／藤井百合子

照明／大島祐夫

舞台監督／村田健輔

副指揮／仲田淳也

演出助手／荒川はるか

2010年 **11/13** (土)・**14** (日) 15:00 **テアトロ・ジューリオ・ショウワ** (小田急線新百合ヶ丘駅南口徒歩4分 昭和音楽大学南校舎キャンパス内)

*両日とも14時15分から会場にて作品解説がございます。開場は14時です。

A ¥5,800 B ¥4,300 C ¥2,800 [税込] *C券の取り扱いには日本オペラ振興会のみ

*ご購入に際しては以下のことを予めご了承くださいませ。出演者は変更することがあります。お買い求めいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

主催：財団法人日本オペラ振興会 共催：昭和音楽大学

後援：川崎市教育委員会／「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム しんゆり・芸術のまち／「音楽のまち・かわさき」推進協議会 音楽のまちかわさき

日本オペラ振興会フレッシュコンサート2010

ソプラノ 荒井こづえ、尾上真由、切敷典子、桑原伊づみ
鈴木美也子、ステパニユック・オクサーナ、田辺彩佳
趙 明美、百々あずさ、長瀬千賀子、古澤真紀子
溝呂木さゆり、渡邊千枝子

メゾ・ソプラノ 鈴木文美子
テノール 東小野 修
バリトン/バス 小田桐貴樹、前田進一郎
ピアノ：村上尊志・河原忠之

2010年 **11/28** (日) 14:00 **津田ホール** (JR千駄ヶ谷駅前)

全自由席 ¥3,000 [税込]

主催：財団法人日本オペラ振興会

予約・お問い合わせ ● 日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333 オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>

ドニゼッティ作曲 **ルチア** オペラ2部（3幕）〈字幕付き原語上演〉

公演監督：岡山廣幸 指揮：園田隆一郎 演出：岩田達宗

キャスト

	3/5	3/6
ルチア	佐藤美枝子	光岡暁恵
エドガルド	村上敏明	小山陽二郎
エンリーコ	谷友博	須藤慎吾
ライモンド	彭康亮	デニス・ビシュニャ
アルトゥーロ	川久保博史	上本訓久
アリーサ	牧野真由美	二渡加津子
ノルマンノ	所谷直生	藤原海考

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

美術／島次郎 衣裳／前田文子 照明／沢田祐二

舞台監督／菅原多敢弘 合唱指揮／須藤桂司

副指揮／杉原直基 演出助手／喜田健司

2011年 **3/5** (土)・**6** (日) 15:00 **東京文化会館**

(JR上野駅公園口下車直前)

*両日とも14時15分から会場にて作品解説がございます。開場は14時です。

特別席 ¥16,000 A ¥14,000 B ¥12,000

C ¥9,000 D ¥6,000 E ¥4,000 F ¥2,000 [税込]

*特別席～C席は各席2000円の学生割引があります。

学生割引は日本オペラ振興会チケットセンターでのみお取り扱いし、同センターではE券、F券のお取り扱いはございません。

*ご購入に際しては以下のことを予めご了承くださいませ。

出演者は変更することがあります。

お買い求めいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

10月2日
(土)
午前10時
発売開始

主催：財団法人日本オペラ振興会・社団法人日本演奏連盟

作品メモ

連筆多作で知られるドニゼッティの数ある作品のなかでもとりわけベルカント・オペラの最高傑作として親しまれている名作。

作曲●ガエターノ・ドニゼッティ(1797年～1848年)。

イタリアのベルガモで生まれ、生涯に65作を超えるオペラを作曲。「アンナ・ボレーナ」「愛の妙薬」「マリア・ストゥアルダ」「ルチア」「ルクレツィア・ボルジア」「ラ・ファヴォリータ」などが代表作。

台本●サルヴァトーレ・カンマラーノ。2部構成3幕イタリア語。

原作はウォルター・スコットの「ラマムーアの花嫁」

初演●1835年9月26日 ナポリ・サンカルロ歌劇場

舞台●17世紀末のスコットランド。

主な登場人物

ルチア(ソプラノ) エンリーコの妹。兄の仇敵のエドガルドと永久の愛を誓うが、兄から政略結婚を強いられる。発狂したルチアは新郎を殺害し、不幸な最期を遂げる。

エドガルド(テノール) 父の仇敵エンリーコの妹ルチアと恋に陥り、愛憎の狭間で苦しむがルチアと愛を誓う。ルチアの真意を知らず、愛も希望も失い自らの死を選ぶ。

エンリーコ(バリトン) 家の復興と地位獲得のために妹の政略結婚を企てる策士。

ライモンド(バス) ルチアの家教師。

アルトゥーロ(テノール) ルチアの政略結婚の相手となる裕福な貴族。

聴きどころ●【第1部】エンリーコの aria「不吉な心配事」、ルチアの aria「静かな夜」、ルチアとエドガルドの二重唱「父の墓の前で」【第2部第1幕】フィナーレ六重唱「このような時に誰が私の怒りを抑えられよう」【2幕】ルチアの aria「狂乱の場」、エドガルドの aria「フィナーレ「わが祖先の墓よ」～「神に向かって飛び立ったお前」

その他の日本オペラ振興会公演予定 (2011年1月～6月)

藤原歌劇団・日経ホール ニューイヤー特別企画

オペラ名曲ベストテン (仮称)

2011年1月15日(土) 日経ホール

主催：財団法人日本オペラ振興会・日経ホール

オペラ歌手育成部第30期生

新人育成オペラアンサンブル公演

2011年3月12日(土)・13日(日) 昭和音楽大学北校舎第1スタジオ

[12日]ピッチニ「ラ・チェッキーナ」(昼夜2回=14時/18時半)

[13日]演目未定(昼夜2回=13時/17時半)

日本オペラ振興会「第30回新人演奏会」

2011年6月19日(日) 津田ホール

制作受託オペラ

平成22年度 文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」

藤原歌劇団公演「カルメン」ハイライト

出演：

森山京子、河野めぐみ、向野由美子、永澤三郎、角田和弘、三浦克次、柿沼伸美、家田紀子、竹村佳子、藤原歌劇団合唱部

10月13日(水) 京丹後市立神野小学校

10月14日(木) 京丹後市立久美浜小学校

10月15日(金) 京丹後市立黒部小学校

10月18日(月) 綾部市立物部小学校

10月19日(火) 高浜文化会館

10月20日(水) 舞鶴市立倉橋第二小学校

10月26日(火) 加茂文化会館

10月28日(木) 黒部市国際文化センター

10月29日(金) 氷見市立窪小学校

日本オペラ協会京都公演「夕鶴」

2010年10月16日(土) 17時開演/17日(日) 14時開演

京都造形芸術大学内・京都芸術劇場春秋座

出演：大貫裕子、川越塔子、松浦 健、持木 弘、清水良一、中村 靖

制作受託コンサート

目黒区民まつり

2010年10月17日(日) 目黒パーシモンホール

出演：五十嵐喜芳、五十嵐麻利江 光岡暁恵、浅野菜生子 ほか

二人でコンサートVII

2010年11月27日(土) 第一生命ホール

出演：佐藤美枝子、鳥木弥生、小山陽二郎、堀内康雄、浅野菜生子

YAMAHAコンサート (仮称)

2011年1月26日(水) YAMAHAホール

藤岡北中学校スクールコンサート

2010年10月29日(金) みかほ未来館

出演：藤原歌劇団合唱部、及川 貢、金森敏子 ほか

インタビュー

佐藤美枝子

私自身がルチアだと言えるほど、彼女が私の身体に染み込んでいます

Q 「ルチア」はこれまでに何度くらい？

初めて「ルチア」を歌ったのは2000年の藤原歌劇団へのデビュー公演でした。その後、2003年にブルガリアのソフィア国立歌劇場、2007年に大阪いずみホールでの公演と、これまでに3度歌っています。

実は藤原の公演より前、イタリアの野外劇場の公演で初めて「ルチア」を歌うはずでした。ところが予定されていた2公演がどちらも雨で中止になってしまったのです。エンリーコとのデュエットが始まった途端に雨が降り出し、それでもオーケストラの方たちは演奏を続けてくださったのですが…。指揮者が手を大きく広げて「やめ」の合図をした時ほど悲しい気持ちになったことはありません。今思い返しても胸が詰まります。

Q ロールデビューから10年間、佐藤さんの中の「ルチア像」は変わっていますか？

オペラ全幕としては3度しか舞台に立っていませんが、恵まれたことに、今回の演出家でもある岩田達宗さんにモノオペラとして創り直していただいた舞台「幻想のルチア」を繰り返し上演させていただきました。そのためにかなりの稽古を積みまし、10年前よりも、彼女の内面がより深く私の身体に染み込んでいると思っています。それは単なる「ルチア像」ではなく、私自身がルチアになると言っても過言ではないと自負しています。

Q 声楽的な技術面、あるいは演技面で、どんなところが難しいでしょう？

「狂乱の場」の声楽的な困難さは、さほど感じたことがないというのが本音です。声楽的なテクニックだけを考えれば、登場のアリアのほうが、私にとってはずっと難しいかもしれません。けれど「ルチア」に限らず、オペラは、その登場人物が今何を考え、何を歌っているのかが、その音色だけで伝わらなければならないと思っています。そこに付随して演技があると思うのです。つまり役の性格描写や演技は「声」の中

に含まれていて、そのすべてを同時に創っていかなければ、その役になることはできません。

Q 「理想のルチア歌い」は？

最も尊敬する歌手はマリア・カラスです。上記のような考え方も、彼女の歌が私にもたらしてくれたものです。今のところ、私の中で彼女を超える歌手は存在しません。ただ、テクニク的に素晴らしいと思



い、追いつきたいと考えているのは、マリエッラ・デヴィーアです。

Q ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

10年前にいらしていただいたお客様にも、この10年間で進化した「ルチア」をご覧いただけるよう、これから公演日までまだまだ精進したいと思っています。私の最も信頼する演出家とともに、私たちにしか創れない「ルチア」をお届けしますのでご期待ください。

●佐藤美枝子(さとう みえこ) ソプラノ [5日 ルチア]

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、イタリアに留学。ローマのマンツォーニ劇場「リゴレット」のジルダに出演。1998年第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位で大きな話題を呼んだ。2000年、藤原歌劇団に最も得意とする「ルチア」でデビューして絶賛を博し、その後も「カプレーティ家とモンテッキ家」「イタリアのトルコ人」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「カルメル会修道女の対話」等に出演を重ねている。日本を代表するベルカント・ソプラノとして、各地でのオペラ公演や各種コンサート、CD録音など幅広く活躍中。

人々の胸を打ち続ける堂々たる悲劇

岩田達宗(演出)

このオペラで描かれる殺人事件は、実際に起きたことだ。実際に起きたセンセーショナルな事件を、ウォルター・スコットが戯曲にし、それがカンマラーノとドニゼッティのオペラの原作に選ばれたのである。そしてオペラ化の過程で様々な脚色や登場人物の整理が行われた。

その脚色や整理に於いて、中心となる悲恋や殺人へと至るプロセスには大きな変更は加えられていない。大きな変更が加えられるのは、その背景となる時代や状況の設定である。その中でも特に重要な脚色と私が感じるのはルチアの兄エンリーコが妹に政略結婚を強いるに至る歴史的背景と、彼のキャラクター設定である。

カンマラーノの書いたオペラ台本中のエンリーコの台詞にいわく、『ウィリアム(グリエルモ)が亡くなった…スコットランドを統べるのはメアリー(マリア)だ…私の後ろ盾となる勢力はもはや風前の灯』

ウィリアムとはウィリアム3世、つまりオレンジ公ウィリアムとして知られるイングランドの王であり、メアリーは彼と入れ違いに即位したアン女王の間違いであろう。時代考証の正確さはさておき、このオペラの物語の時代背景として、18世紀初頭のイングランド王国による、ルチアやエンリーコの故郷であるスコットランドの大規模な吸収合併

が行われた時代を、カンマラーノが選んでいることは明らかであろう。

アン女王の時代にイングランドに吸収合併されたスコットランドからは、その独自の文化、風習、そして言語さえもが、徐々に消滅し、やがてそのほとんどが消えてしまう。現在、かつてのスコットランドの文化は、衣装や民謡、古くからの地名などに、ごくわずかにその痕跡を残すのみである。つまり、この時代を皮切りにスコットランドという国は緩やかに滅んでいったと言っても過言ではない。

エンリーコは滅びゆく国を守ろうとしたのではないかと私は思う。私利私欲のために国家権力を守ろうとしたのではなく、滅亡の危機に瀕した自分たちの文化、言語、しいは祖国そのものを守ろうとしたのではないかと。愛する大切な妹の幸福をその代償にしてさえも。

一つの国が滅ぶときに、若者たちの愛や、正義、希望、そして命すらが、無残にも歴史の歯車の痛ましい犠牲となって失われた…。という、時代背景の脚色こそがこのオペラを単なる悲恋の物語に終わらせない、堂々たる悲劇たらしめている所以であると思う。そして、ヒロインのルチアの死が、巨大な運命や時代に拮抗した燦然たる光彩として人々の胸を打ち続ける理由の一つであろう。

光岡暁恵

歌うたびに、私自身がルチアから人生を教えられるような気がします

Q 今回の帰国デビューについての思いを。

声楽を始めた頃、藤原の公演で「ルチア」を歌ってみたいと漠然と思っていたので、その想いが実現することになります。今でもなんだか夢ではないかと思うほどです。海外で学んだ経験を少しでも活かせたらと思います。

Q 留学したチューリッヒやミラノではどのような活動を？

チューリッヒのオペラスタジオではとにかくコンサートが多く、「一番で人の前に立つこと」の意義を徹底的に教えられたような気がします。ドイツ語圏なので、やはりドイツ語のオペラやオペレッタに触れる機会が圧倒的に多く、イタリアの作品に慣れ親しんでいた私にとっては新しい経験をする場に数多く恵まれました。

その後、再びミラノに留学先する機会をいただき、久しぶりにイタリア語を毎日耳にしながら歌えることの喜びを感じています。同時に、自分がイタリアオペラを勉強する上で足りないことは何かを改めて分析し、新しい角度からイタリア・オペラと向き合って勉強中です。

Q これまでの「ルチア」の経験を聞かせてください。

2004年に母校の昭和音楽大学のオペラ公演で歌ったのがロールデビューですが、それまでも、またその後も、要所要所で歌ってきた作品ですので愛着があり、迷いが生じた時に「自分」を思い出させてくれる私の原点のような作品です。

Q 光岡さんの考えるルチアはどんな役ですか？

歌えば歌うほど、歌いこなすのは実に大変だと実感させられます。時代の背景や、当時の女性が置かれていた立場、恋愛のあり方などを知識として理解はしていても、実際にルチアという女性の気持ちをどれだけ汲んで歌うことができるか、表現の面でも大変難しいです。歌うたびに新しい発見もあり、逆に私がルチアから人生を一生懸命生

きるということを教えられているような気がします。彼女は狂乱することで自分の意思を貫いたわけですが、逆境にあっても自分の道を切り開いていこうとする勇氣のある女性を演じられたら、と思っています。

Q 最も印象に残っているルチア歌手は？

好きなルチアはたくさんいて、一人を決めるのは難しいです。それぞれ個性的で、それだけ多角的に表現できる役なのだと思います。

Q 公演に向けての抱負を。

いつも自分のお守りのようにしてきた「ルチア」を藤原歌劇団の公演で歌うことのできる喜びは本当に大きく、深く感謝しています。ルチアという一人の女性の人生の中でも最もドラマチックなひとときを皆さんと共有し、彼女の想いを共感していただけたら光栄です。



●光岡暁恵(みつおか あきえ) ソプラノ [6日 ルチア]

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。2004～06年、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてミラノに留学。08年静岡国際オペラ・コンクールで第1位、三浦環賞、オーディエンス賞受賞。藤原歌劇団に06年「ランスへの旅」のフォルヴィル伯爵夫人でデビューし成功を収める。07年よりチューリッヒ歌劇場で2年間研修後、ミラノで研鑽を重ね、本年9月帰国。09年一時帰国して開催したりサイタルや藤原歌劇団創立75周年記念オペラコンサートへの出演でも絶賛を博した。



●園田隆一郎(そのだ りゅういちろう) 指揮

1976年生まれ。東京藝術大学指揮科卒業、同大学大学院修了。在学中の2000年渡伊、シエナのキジアーナ音楽院でG.ジェルメッティ氏に師事。02年から文化庁派遣芸術家在外研修員として、04年から野村国際文化財団奨学生、05年より五島記念文化財団奨学生としてローマに留学。07年藤原歌劇団「ラ・ボエーム」で日本デビュー。同年夏ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルの若手公演「ランスへの旅」の指揮に抜擢され、その後もヨーロッパを中心に活躍。藤原歌劇団には09年創立75周年記念公演「愛の妙薬」に続いての登場。



●村上敏明(むらかみ としあき) テノール [5日 エドガルド]

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、文化庁派遣芸術家在外研修員および五島記念文化財団奨学生として2度にわたりイタリアに留学。藤原歌劇団には1999年「ラ・ボエーム」のバルビニョールでデビュー。2005年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで成功を収め、07年「ラ・ボエーム」のロドルフォ「蝶々夫人」のピンカートンで絶賛を博す。その他、新国立劇場公演や数多くのコンサートで活躍し、本年6月、イタリアのスポレート音楽祭でのベンツェ作曲「午後の曳航」で好評を博した。



●谷友博(たに ともひろ) バリトン [5日 エンリーコ]

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。1995年よりミラノ音楽院に学ぶ。スロヴェニアのマリボール国立歌劇場をはじめ、イタリア各地でオペラに出演。藤原歌劇団に99年「ラ・ボエーム」でデビュー。2003年には「ラ・トラヴィアータ」のジェルモンに抜擢され、その後も「ロメオとジュリエット」のメルキュシオ、「ラ・チェネレントラ」のダンディーニ、「ラ・ボエーム」のマルチェッロほかで活躍を続け、新国立劇場でも「ルチア」のエンリーコ、「イル・トロヴァトーレ」のルーナ伯爵などに出演。



●岩田達宗(いわた たつじ) 演出

神戸出身、東京外国語大学卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に参加。1991年より栗山昌良氏に師事。96年湘南台市民シアター「霊媒」で演出家デビュー。同年五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、98年より2年間欧州で研鑽を積む。帰国後本格的にオペラ演出家として活動を開始。卓抜なアイデアによる舞台は各地で目覚ましい成功を収め、現在最も注目される気鋭のオペラ演出家。藤原歌劇団では2007年「ラ・ボエーム」を初演出、09年の「ラ・ジョコンダ」に続いて今回が3作目となる。



●小山陽二郎(おやま ようじろう) テノール [6日 エドガルド]

愛知県立芸術大学卒業、同大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、ミラノに留学。イタリア各地でオペラ出演のほか、1997年から2年間ハンガリー国立歌劇場メンバーとして活躍。藤原歌劇団には2003年「ロメオとジュリエット」でデビュー以来、「イル・カンピエッロ」「カルメン」「ランスへの旅」「どろぼうかささぎ」ほか多くの公演に出演し、08年は「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで成功を収めている。その他、新国立劇場や各地のオペラでも活躍している。



●須藤慎吾(すどう しんご) バリトン [6日 エンリーコ]

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第37回イタリア声楽コンクールでシエナ大賞受賞、第42回日伊声楽コンクール第1位等、国内外のコンクールで上位入賞。1999年から2006年にかけてのイタリアに留学中、ミラノを中心にイタリア各地の歌劇場で数多くのオペラ公演に出演。藤原歌劇団には08年「ラ・トラヴィアータ」のドビニーでデビュー。続いて11月「ラ・ボエーム」のマルチェッロ、09年の「愛の妙薬」のベルコーレで好評を博している。その他、各団体のオペラでも活躍中。

2010年度 新規入団・会員

藤原歌劇団 正団員

オーディション
による
【*＝準団員より】



趙 明美* S



長瀬千賀子* S



古澤真紀子* S



ステパニエック・オクサーナ S



百々あずさ S



東小野 修 T



前田進一郎* Br



小田桐貴樹* B

昇格および
新入団



松浦 麗 MS



エグトル・バラスイオ T



高橋裕子 pf

藤原歌劇団 準団員

育成部より



海野尚子 S



枝松 瞳 S



押田汐里 S



神本理恵 S



小林教代 S



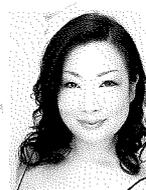
下本亜也子 S



鈴木香織 S



瀧澤和貴子 S



田島由貴子 S



山邊聖美 S



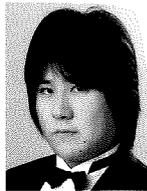
菊池大翼 T



千葉祐輔 T



池田 哲 Br



佐藤美久 Br

オーディション
による



鈴木美也子 S



荒井こつえ S



尾上真由 S



切敷典子 S



桑原伊つみ S



田辺彩佳 S



渡邊千枝子 S



鈴木文美子 MS

日本オペラ協会 正会員

オーディション
による



溝呂木さゆり S

平成23年度 オペラ歌手育成部【研究生】 募集

本格的なオペラ歌手を育成します。

オペラ専門コース I / オペラ専門コース II / オペラマスターコース

●願書受付期間

【第一次募集】平成22年12月1日(水)～平成23年2月1日(火)

【第二次募集】平成23年 2月15日(火)～平成23年3月15日(火)

●入所検定料 38,000円(併願料5,000円)

●選抜試験日

【第一次募集】平成23年2月5日(土)

【第二次募集】平成23年3月19日(土)

※両日とも、午前：歌唱試験 / 午後：面接試験

受験資格・試験科目等詳細は下記へお問い合わせください。募集要項および志願書は、電話またはファックスにてご請求いただければ郵送します。

【お問い合わせ】(午前10時～午後6時)

財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部

〒215-0004神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6

昭和音楽大学北校舎内

☎044-969-7197 ㊟044-953-8693

受賞

■松浦 麗 (メゾ・ソプラノ) 藤原歌劇団団員

2010年第8回藤沢オペラコンクール第3位

■伊藤真矢子 (ソプラノ) 藤原歌劇団準団員

2010年第4回横浜国際音楽コンクール声楽部門一般の部第2位(1位なし)

リサイタル・マネジメント

本宮寛子ソプラノリサイタル

2010年11月3日(水)

王子ホール

村上敏明テノールリサイタル

2010年11月6日(土)

東京文化会館小ホール

鎌田滋子ソプラノリサイタル

2010年11月13日(土)

サントリーホールブルーローズ

[2010年]

■ 7月11日(日)
わたしの青い鳥2010
出演●大森智子
会場●北九州芸術劇場中劇場

■ 7月12日(月)~17日(土)
新国立劇場
高校生のためのオペラ鑑賞教室
「カルメン」
出演●森山京子、谷友博
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 7月15日(木)
シリーズ・トーク
オペラ「ホフマン物語」
出演●砂川涼子
会場●愛知県芸術劇場小ホール

■ 7月18日(日)
フレッシュ名曲コンサート
出演●清水理恵
会場●武蔵村山市市民会館さくらホール(大)

■ 7月22日(木)
中鉢 聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●飯田文化会館

■ 7月24日(土)
オペラ・アリアの夕べ2010
出演●砂川涼子、水口 聡、堀内康雄
会場●トッパンホール

■ 7月25日(日)
池田晋一郎の「音楽の愉しみ」
お話とピアノデュオ&歌
出演●沢崎恵美
会場●広島国際会議場フェニックスホール

■ 7月30日(金)
ニュー・オペラ・プロダクション
創立20周年記念
第13回オペラ公演「末摘花」
出演●河野めぐみ、牧野真由美
会場●紀尾井ホール(大)

■ 8月8日(日)
NHK BS-hi「映画音楽に乾杯!」収録
出演●砂川涼子

■ 8月20日(金)
第12回「愛の泉」
チャリティーコンサート
出演●高橋薫子
会場●サントリーホール

■ 9月3日(金)
スーパー・コーラス・トークショー
お披露目イベント
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●めぐろパーシモンホール(大)

■ 9月5日(日)
調布市民オペラ「アイダ」
出演●デニス・ビシュニャ
会場●調布市グリーンホール(大)

■ 9月7日(火)
キリンチャレンジカップ2010
グアテマラ国歌斉唱
出演●小山陽二郎
会場●大阪長居スタジアム

■ 9月9日(木)
オペラ・スーパー・ガラコンサート
出演●堀内康雄
会場●サントリーホール(大)

■ 9月12日(日)
佐野成宏・堀内康雄
テノール&バリトン ゴールデン・デュオ!
出演●堀内康雄
会場●ザ・シンフォニーホール

■ 9月18日(土)、20(月)
あいとりエンターレ2010
プロデュースオペラ「ホフマン物語」
出演●砂川涼子、村上敏明、森口賢二、
藤原歌劇団合唱部
会場●愛知県芸術劇場(大)

■ 9月18日(土)、19日(日)
大田区民オペラ協議会20周年記念公演
「マクベス」
出演●持木 弘、折江忠道
会場●大田区民ホールアブリコ大ホール

■ 9月26日(日)
砂川涼子&村上敏明
ジョイント・リサイタル
出演●砂川涼子、村上敏明
会場●宗次ホール

■ 10月1日(金)~3日(日)
仙台クラシックフェスティバル2010
出演●中鉢 聡
(1日)中鉢聡テノールリサイタル
会場●イズミティ21
(2日)ミキモト コスメティックス ド
リームコンサート
会場●仙台市青年文化センターコン
サートホール
(3日)ドコモスペシャルコンサート
会場●イズミティ21

■ 10月2日(土)、5(火)、8(金)、
11(月・祝)、14(木)、17(日)
新国立劇場公演「アラベッラ」
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 10月7日(木)
札幌交響楽団 室蘭演奏会
出演●立野至美
会場●室蘭市文化センター

■ 10月9日(土)、10日(日)、11日(月・祝)
2011年3月5日(土)
ミラマレ公演
「奥様女中」 「ジャンニ・スキッキ」
出演●神田さやか、江口浩平、前田進一郎
会場●六行会ホール(2010年10月)
みなとみらいホール(2011年3月)

■ 10月9日(土)、11日(月・祝)、13日(水)
スーパー・コーラス・トークショー
デビューコンサート
「ヴェルディ:レクイエム」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●東京国際フォーラムG、パルテ
ン多摩(大)、サントリーホール(大)

■ 10月10日(日)、13(水)、16(土)、
19(火)
新国立劇場公演「フィガロの結婚」
出演●森山京子
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 10月17日(日)
愛媛オペラ2010「ラ・ボエーム」
出演●須藤慎吾、柴山昌宣、東原貞彦
会場●ひめぎんホール メインホール

■ 10月17日(日)
和歌山市民オペラ協会第15回定期公演
「ヘンゼルとグレーテル」
出演●立花敏弘
会場●和歌山市民会館

■ 10月24日(日)
トヨタコミュニティコンサートin札幌
「ニーベルングの指輪」
出演●角田和弘
会場●札幌コンサートホールKITARA

■ 10月24日(日)、31日(日)
アブラック・第一生命提携10周年イベント
出演●大森智子
会場●(24日)丸ビルマルキューブ
(31日)デュオこうベデュオドーム

■ 10月27日(水)
新国立劇場
高校生のためのオペラ鑑賞教室
関西公演「蝶々夫人」
出演●岡崎他加子、村上敏明、折江忠道
会場●尼崎市総合文化センター
アルカイックホール

■ 11月1日(月)、3日(水)、4日(木)
2010なとり音楽活性化事業
アウトリーチとコンサート
出演●大森智子

■ 11月3日(水)
ミュージックシリーズ
気軽にクラシック2010
出演●高橋薫子
会場●所沢市民文化センターミュージ
アークホール

■ 11月6日(土)
コーロ・フォレスタ
ファースト・コンサート
出演●松浦 健、谷友博
会場●神奈川県立音楽堂

■ 11月6日(土)、13日(土)
藤沢市制施行70周年記念
藤沢市民オペラ
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「道化師」
出演●小濱妙美、牧野正人
会場●藤沢市民会館

■ 11月11日(木)
第一生命ロビーコンサート
出演●鳥木弥生
会場●第一生命 日比谷本社

■ 11月12日(金)、15日(月)、
18日(木)、21日(日)、24日(水)
新国立劇場公演「アンドレア・シェニエ」
出演●森山京子
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 11月16日(火)
としま未来コンサート(仮称)
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●東京芸術劇場

■ 11月18日(木)
朝日カルチャーセンター
講座「中鉢聡と歌おう!」
講師●中鉢 聡

■ 11月21日(日)
市川交響楽団「合唱の集い」
出演●五郎部俊朗
会場●市川市民文化会館(大)

■ 11月23日(火・祝)
中鉢 聡テノールコンサート
出演●中鉢 聡
会場●佐久市コスモホール

■ 11月27日(土)
Concert for KIDS
出演●大森智子
会場●なかのZERO

■ 12月4日(土)
ちょっとセレブにクラシック
~第九とクリスマスソング
出演●鳥木弥生、久保田真澄
会場●東京芸術劇場

■ 12月4日(土)
中鉢聡テノールリサイタル
出演●中鉢 聡
会場●アムールホール

■ 12月4日(土)、5日(日)
日立交響楽団
第111回定期演奏会「第九」
出演●清水理恵、牧野真由美
上本訓久、須藤慎吾
会場●日立シビックセンター

■ 12月12日(日)
日立フィルハーモニー管弦楽団
第30回定期演奏会「第九」
出演●清水理恵、森山京子
上本訓久、三浦克次
会場●サントリーホール

■ 12月12日(日)
市制施行40周年記念
和光シビックコンサート「第九」
出演●光岡暁恵、谷友博
会場●和光市民文化センター(サンアゼリア)

■ 12月15日(水)
ランチタイム・コンサート
出演●菅家奈津子
会場●宝くじドリーム館

■ 12月15(水)~19日(日)
アウトリーチコンサート
出演●小林厚子
会場●東京都港区4ヶ所

■ 12月19日(日)
横須賀芸術劇場クリスマスコンサート
出演●中鉢 聡
会場●よこすか芸術劇場

■ 12月19日(日)、21日(火)、
23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)
東京フィルハーモニー交響楽団
「第九」
出演●堀内康雄
会場●
(19日)所沢市民文化センターミュージ
アークホール
(21日)サントリーホール(大)
(23日)Bunkamuraオーチャードホール
(25日)盛岡市民文化ホール
(26日)東京オペラシティコンサートホール

■ 12月25日(土)、26日(日)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
「第九」
出演●鳥木弥生、村上敏明
会場●(25日)グリーンホール相模大野
(26日)神奈川県民ホール

[2011年]

■ 1月3日(月)
NHKニューイヤーオペラコンサート
出演●藤原歌劇団合唱部、ソリスト未定
会場●NHKホール

■ 1月4日(火)
富山ニューイヤーコンサート
出演●中鉢 聡
会場●オーバードホール

■ 1月16日(日)
日立ニューイヤーコンサート
出演●大貫裕子、持木 弘
会場●日立シビックセンター音楽ホール

■ 1月30日(日)
ニューイヤーコンサート
出演●竹田有輝子、村上敏明、森口賢二
会場●南大沢文化会館

■ 2月5日(土)
新国立劇場公演 オペラ「夕鶴」
出演●谷友博
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 2月5日(土)
神奈川フィル名曲コンサート
「シネマ・クラシックスII」
出演●光岡暁恵、向野由美子、
小山陽二郎、羽瀧浩樹
会場●神奈川県民ホール

■ 2月14日(月)、17(木)、20(日)、
23(水)、26(土)
新国立劇場公演「椿姫」
出演●東原貞彦
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 3月6日(日)、20日(日)
びわ湖ホール・神奈川県民ホール・
二期会ほか共同制作公演「アイダ」
出演●堀内康雄
会場●(6日)びわ湖ホール
(20日)神奈川県民ホール

■ 3月15日(火)、18(金)、21(月・祝)、
24(木)、27(日)、30(水)
新国立劇場公演「マノン・レスコー」
出演●妻屋秀和、松浦 健、森口賢二
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 3月19日(土)(予定)
オペラティックコンサート(仮称)
出演●立花敏弘、中鉢 聡
会場●和歌山市民会館、ほか

藤原歌劇団

プーランク「カルメル会修道女の対話」

ニュープロダクション

衝撃的なラストシーンは圧巻、聴きごたえのある公演

ベテランから新進まで団員の総力を結集し、フランス近代オペラの傑作に初挑戦。フランスのベテラン指揮者ギンガルのもと、女声16人によるフィナーレは圧巻の出来栄。正攻法の舞台で悲劇性が見事に表出されました。

2010年2月6日・7日

東京文化会館

指揮：アラン・ギンガル

演出：松本重孝

出演：出口正子／佐藤亜希子

中鉢 聡／小山陽二郎

森山京子／郡 愛子

折江忠道／三浦克次

佐藤ひさら／本宮寛子

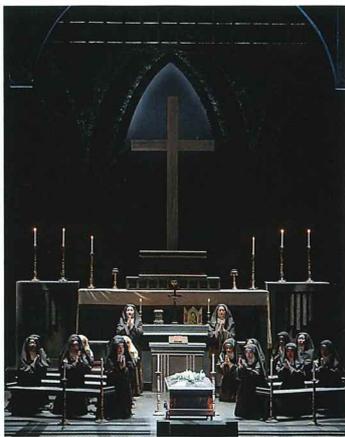
鳥木弥生／牧野真由美

佐藤美枝子／大貫裕子

河野めぐみ／二渡加津子 ほか

藤原歌劇団合唱部

東京フィルハーモニー交響楽団



日本オペラ協会

池辺晋一郎「魅惑の美女はデスゴッデス！」

ニュープロダクション

聴衆を楽しませた、コミカルな演出とスピーディーな舞台

アルテリッカしんゆり参加に際し改題して臨んだ、「死神」の5度目の上演。芝居に長けた横山由和のコミカルな演出が池辺晋一郎のエンターテインメント性を引き出し、スピーディーな舞台進行が聴衆を楽しませました。

2010年4月24日・25日 テアトロ・ジーリオ・ショウワ

指揮：柴田真郁 演出：横山由和

出演：齊田正子／長島由佳、持木 弘／泉 良平、きのしたひろこ／木村圭子

松浦 健／所谷直生、藤澤真理／安東玄人、東原貞彦／岡山 肇

中村 靖／井上白葉、西野郁子／鈴木鮎子、和下田大典

日本オペラ協会合唱団 アンサンブル・アルテリッカ



藤原歌劇団

ロッシーニ「タンクレーディ」

ニュープロダクション

演奏・舞台ともに様式美がマッチした上演

ロッシーニを知り尽くしたゼツダ氏を擁し、松本重孝の手堅い演出により初期セリアを取り上げたシリーズの第6弾。初来日のピッツォラートとプリマ高橋薫子の高水準の歌唱が圧倒的な存在感を示し、好評を博しました。

2010年6月11日・13日 東京文化会館

指揮：アルベルト・ゼツダ 演出：松本重孝

出演：マリアンナ・ピッツォラート、高橋薫子、中井亮一、彭 康亮

鳥木弥生、松浦 麗

藤原歌劇団合唱部 読売日本交響楽団



財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員 募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかもさまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員(JOFアミーチ会員)を募集しています。入会は随時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

年会費：特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

●会員の特典等、詳細のお問い合わせ・資料のご請求は日本オペラ振興会チケットセンターへ●

その他お問い合わせ
予約・資料のご請求

日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333 オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>